

# 《安全の見える化》

## ・ダブルセーフティ宣言

当作業所で働く作業員全員に常に目にしてもらい、安全への意識を高めてもらうために  
作業員休憩室の前に 当作業所の安全活動を集約して表示するようにした。

今、現場で行われている作業に関連した  
過去の災害事例を〈見える化〉し、  
各作業グループの日々のKYに活かす。  
(毎週更新)

当社の「重点実施事項シート」を  
当作業所の特性を反映させ掲示する。  
(作業毎に、実施又は確認すべき  
安全のポイントが表記してある)  
作業手順の遵守・徹底を〈見える化〉



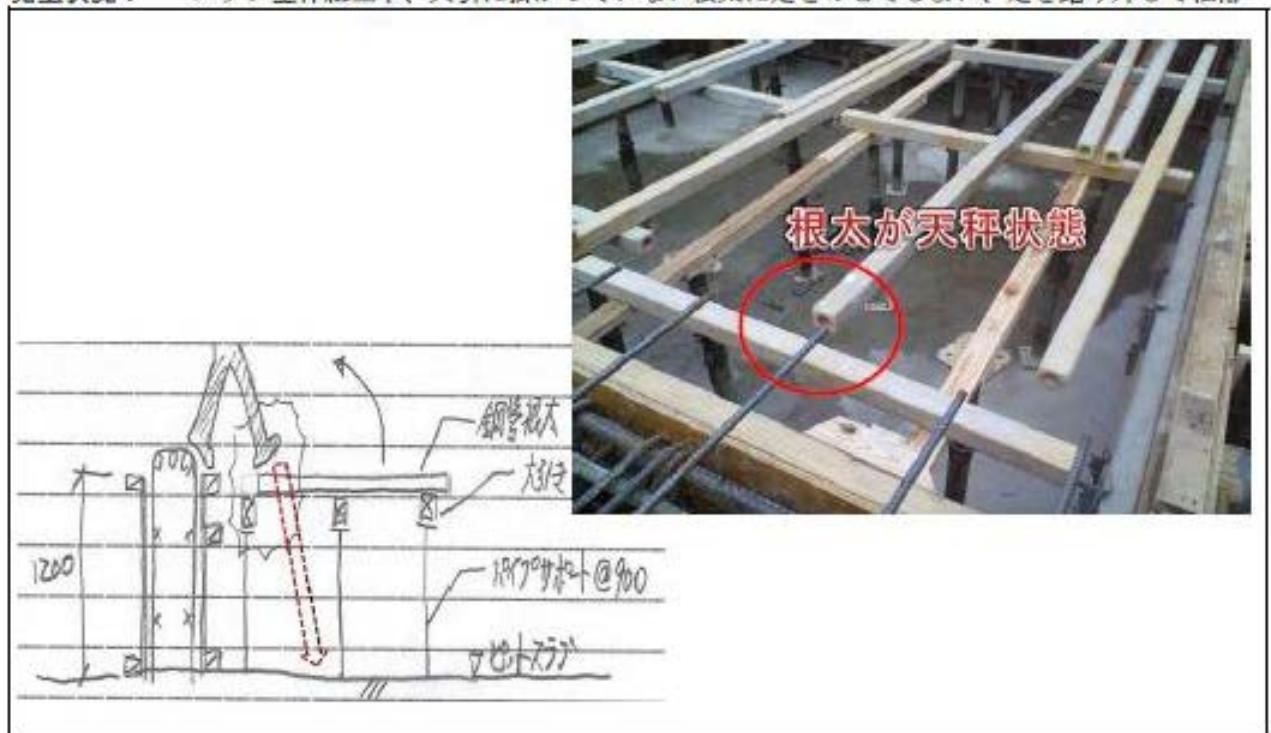
各職長の顔写真と当現場で実施するダブルセーフティ宣言を  
〈見える化〉。安全対策の責任を自覚してもらう。

当日の作業グループごとに、作業前に実施した  
現地KY(リスクアセスメントKY)活動表を掲示する

## 災害事例シート

N O	工種	工事	作業工程・部位	作業形態	事故の型
20121028	建築・建家工事	型枠組立工事	型枠・基礎・地中梁	本作業	墜落・転落
起因物	被災場所、設備	職種	年令	勤務日数	被災程度
仮設物 /型枠 /スラブ	型枠 /スラブ	型枠大工	59才	7日	休業4日~1ヶ月

発生状況：スラブ型枠組立中、大引に掛かっていない根太に足をのせてしまい、足を踏み外して転落



地下1階の基礎スラブ型枠作業中。スラブパネルを掛けようと材料を移動中に、大引に掛っていない根太に足をかけて天秤状態になって転落し、型枠大引き材で脇を強打し被災した。

原因(上段:物、下段:人)	対策(上段:物、下段:人)
・通路・昇降設備の欠陥・未設置・不足・不備	・移動するための通路を確保する。
・作業手順違反・省略・間違い・検討不足 ・危険予知不足	・大引きに、しっかりと根太が掛けた状態を確認し、移動用の安全な通路を確保する。 (安易な近道行動をしない) ・目視で不安全部位の危険予知を行う。

MEMO

■型枠組立作業

作業名  
四國銀三松原社字建替工事  
備考  
(元請)

卷之三

—1—

- 

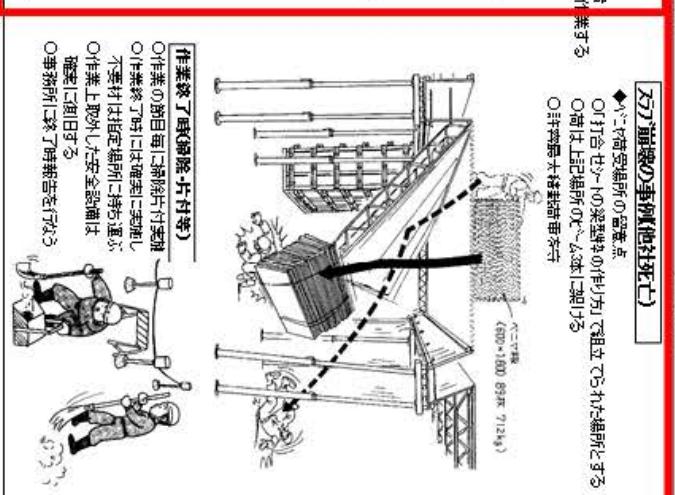
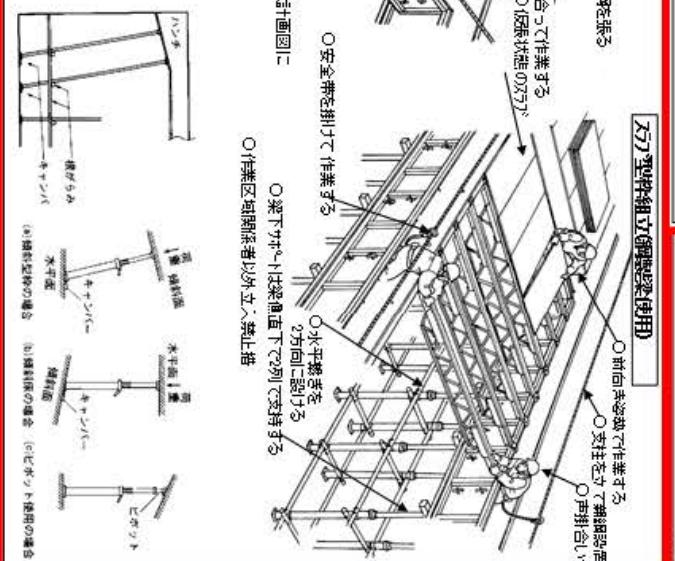
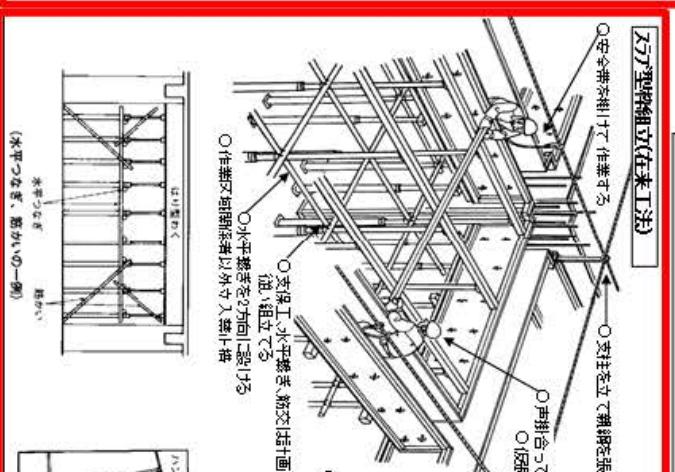
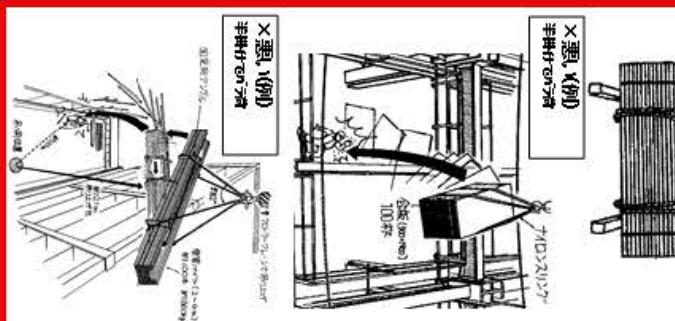
- 

- | 共通事項                         |   |
|------------------------------|---|
| ◎高さ2m以上の構造物の取り扱いがある場所へ出仕する場合 | ○構造物等の上部に登り下部に登る場合は、安全帯を必ず使用する。危険な附近で登り降り上部に登る場合は、安全帯を必ず使用する。 |
| ◎荷物搬入作業                      | ○荷物搬入等で登攀の危険ある場所では、道行時は安全帯を使用する。                              |
| ◎荷物搬出作業                      | ○荷物搬出等で登攀の危険ある場所では、道行時は安全帯を使用する。                              |
| ◆上昇下降装置                      | ○上昇下降装置により上下移動する際は、安全帯を確実に使用する。                               |
| ◆脚立等                         | ○脚立等により安全帯を使用する際は、安全帯を確実に使用する。                                |
| ◆足場上工作業                      | ○足場上に登り下り等でしての作業時は、安全帯完全使用、又終了時は速やかに外す等を留意する。                 |
| ◆足場上工作業                      | ○足場上に登り下り等を放置しない、やむを得ず放置する際は下向きに固定する。                         |
| ◆足場上工作業                      | ○脚立上段止錠は足場板3点支持、か一足場板を結束する。                                   |
| ◆足場上工作業                      | ○脚立上段止錠は足場板3点支持、か一足場板を結束する。                                   |
| ◆足場上工作業                      | ○脚立、可燃性作業台はゆっくり梯子に登る場合に脚立の上に昇降しない。                            |
| ◆足場上工作業                      | ○ローリングアーリー作業台に掛ける、アクリルタイヤ式ではなくアルミを確実に掛ける。                     |
| ◆安全帶                         | ○作業時、安全帶を常に使用する。  |
| ◆安全帯                         | ○使用前には、帯を確認し、可燃物の除去を行ってから着用する。                                |
| ◆玉掛作業                        | ○玉掛け、別途玉掛けにて行うこと。   |
| ◆強風等悪天候での作業中止                | ○強風等悪天候での作業中止。  |

- 

- The diagram illustrates several safety measures for a construction site:

  - 支持柱立て鋼綱を張る (Tensioning steel mesh on support columns)
  - 安全帶使用 (Use of safety belts)
  - 降ろし用カゴ (Hoist basket for lowering)
  - 3点支持・足場脚締結等 (Three-point support, scaffold leg fixation, etc.)
  - 開係者以外立入禁止措置 (Prohibited entry measures for non-related personnel)
  - 施工用梯子 (Construction ladders)



# ダブルセーフティ宣言！！

工種：鳶工事

会社名：

職長：

私たちは

足場組立解体作業で

墜落災害防止のために

親綱先行設置

と

フルハーネス、安全帯2丁掛け使用徹底

で

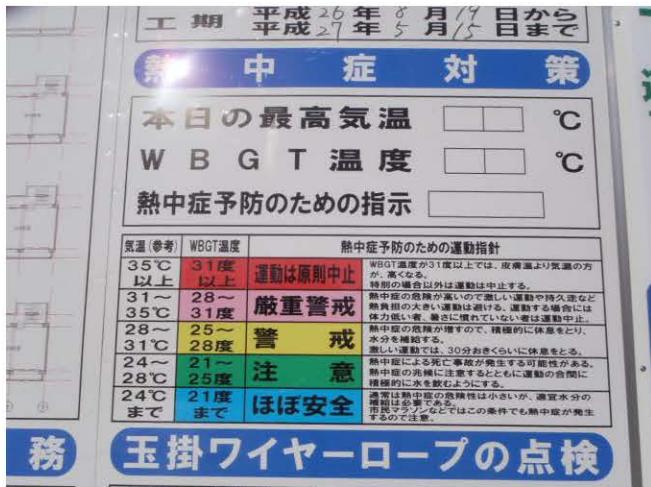
ダブルセーフティ

を展開しています。



## ・熱中症指標対策

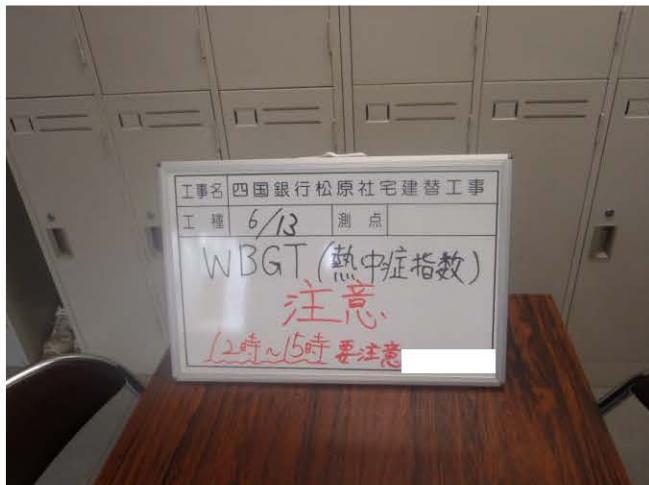
毎朝、熱中症指標予報を休憩室・朝礼看板へ表示を行い、一人一人が熱中症対策を行なえるようにし、常に目に見える休憩室の前に、現在の熱中症指標が表示される測定器を設置した。休憩室には、熱中症対策コーナーを設け、熱中症対策を行った。



特注朝礼看板にて当日の予報を  
分かりやすく〈見える化〉



熱中症指標モニターにて  
タイムリーな WBGT を〈見える化〉



休憩室のも当日の予報と最も危険な時間を  
分かりやすく〈見える化〉



熱中症対策コーナーを設け  
熱中症についての情報を〈見える化〉

**WBGTと熱中症対策の〈見える化〉と三現主義による声掛けにより  
熱中症ゼロを達成！！**